2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　特殊電極株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3437　　ＵＲＬ　https://www.tokuden.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）西川　誉
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長兼経理部長　（氏名）片岡　達哉　　ＴＥＬ　078-941-9421

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日
配当金支払開始予定日　　2026年12月８日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切り捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	5,537	4.3	420	39.6	430	36.9	294	31.6
2026年３月期中間期	5,309	6.8	301	△24.2	314	△22.1	223	△16.7

（注）包括利益　2027年３月期中間期　351百万円（45.6%）　2026年３月期中間期　241百万円（△10.7%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	186.16	―
2026年３月期中間期	141.58	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	11,260	8,182	72.2	5,129.95
2026年３月期	11,923	7,905	65.8	4,957.27

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　8,127百万円　2026年３月期　7,842百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	50.00	―	51.00	101.00
2027年３月期	―	51.00			
2027年３月期（予想）			―	54.00	105.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,245	3.0	730	25.1	749	24.6	513	12.4	324.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,602,000株	2026年３月期	1,602,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	17,657株	2026年３月期	20,011株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,582,967株	2026年３月期中間期	1,581,386株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しを背景に、緩やかな回復が期待されました。しかしながら、地政学リスクに伴うエネルギー価格の動向や金融資本市場の変動、相次ぐ自然災害の影響など、景気の下振れ要因も存在し、先行きにつきましては依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の中にあって当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上や作業の効率化を推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新製品、新装置の開発並びに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は5,537百万円（前年同中間期比4.3%増）となりました。また、損益面におきましては、営業利益は420百万円（同39.6%増）、経常利益は430百万円（同36.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は294百万円（同31.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、連続鋳造ロール肉盛工事の受注は減少しましたが、トッププレート工事の受注が増加したことにより、売上高は4,184百万円（前年同中間期比3.6%増）、セグメント利益は691百万円（同15.6%増）となりました。

② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めました結果、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は306百万円（前年同中間期比0.4%増）、また、商品のアーク溶接棒、ＴＩＧ・ＭＩＧなどの溶接材料の売上高は379百万円（同1.4%増）となり、溶接材料の合計売上高は686百万円（同0.9%増）、セグメント利益は91百万円（同15.4%増）となりました。

③ 環境関連装置

自動車産業用試験装置・検査装置の受注は減少しましたが、自動車産業用粗材冷却装置の受注が増加したことにより、売上高は355百万円（前年同中間期比52.9%増）、セグメント利益は72百万円（同493.2%増）となりました。

④ その他

自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品の受注が減少したことにより、売上高は311百万円（前年同中間期比12.5%減）、セグメント利益は8百万円（同65.6%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、11,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ663百万円減少しました。これは、現金及び預金233百万円の増加がありましたが、売掛金及び契約資産937百万円の減少が主な要因です。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、3,077百万円となり、前連結会計年度末に比べ941百万円減少しました。これは、短期借入金680百万円、その他（流動負債）142百万円の減少が主な要因です。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、8,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円増加しました。これは、利益剰余金213百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は72.2%（前連結会計年度末は65.8%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ133百万円増加し、2,261百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前中間純利益431百万円に、契約資産の増加300百万円、仕入債務の減少111百万円、未払金の減少130百万円などの資金減少要因がありましたが、減価償却費の計上181百万円、売上債権の減少1,306百万円などがあり、1,251百万円の収入（前年同中間期は205百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の預入による支出100百万円、有形固定資産の取得による支出202百万円などがあり、308百万円の支出（前年同中間期は224百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純減額680百万円、配当金の支払80百万円などがあり、807百万円の支出（前年同中間期は128百万円の支出）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年５月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,128,639	2,361,959
受取手形	72,286	－
電子記録債権	360,155	363,503
売掛金及び契約資産	3,634,934	2,697,393
商品及び製品	1,071,981	1,044,084
半成工事	180,702	160,848
原材料及び貯蔵品	177,872	208,652
その他	79,288	127,355
貸倒引当金	△350	△171
流動資産合計	7,705,510	6,963,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,897,455	1,852,013
その他（純額）	1,632,338	1,701,660
有形固定資産合計	3,529,793	3,553,674
無形固定資産	37,859	36,349
投資その他の資産	650,720	706,415
固定資産合計	4,218,374	4,296,439
資産合計	11,923,884	11,260,065
負債の部		
流動負債		
買掛金	652,330	610,356
電子記録債務	302,547	233,413
短期借入金	1,000,000	320,000
１年内返済予定の長期借入金	100,200	100,200
未払法人税等	64,378	155,483
賞与引当金	266,623	201,804
業績連動報酬引当金	6,626	11,148
工事損失引当金	7,108	3,799
その他	341,473	198,993
流動負債合計	2,741,288	1,835,198
固定負債		
長期借入金	584,100	534,000
退職給付に係る負債	658,556	673,861
その他	34,463	34,166
固定負債合計	1,277,120	1,242,028
負債合計	4,018,408	3,077,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	395,251	396,941
利益剰余金	6,892,701	7,106,698
自己株式	△38,592	△34,054
株主資本合計	7,734,172	7,954,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138,838	200,747
為替換算調整勘定	16,958	15,593
退職給付に係る調整累計額	△47,629	△43,134
その他の包括利益累計額合計	108,166	173,206
非支配株主持分	63,136	55,232
純資産合計	7,905,475	8,182,837
負債純資産合計	11,923,884	11,260,065

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,309,031	5,537,753
売上原価	3,908,569	3,985,620
売上総利益	1,400,462	1,552,133
販売費及び一般管理費	1,098,975	1,131,336
営業利益	301,486	420,797
営業外収益		
受取利息	503	812
受取配当金	3,123	3,135
駐車場収入	2,511	2,511
交付金収入	9,425	9,221
その他	3,511	3,977
営業外収益合計	19,075	19,656
営業外費用		
支払利息	4,530	8,421
駐車場収入原価	1,183	1,087
為替差損	139	－
営業外費用合計	5,853	9,508
経常利益	314,708	430,944
特別利益		
固定資産売却益	148	264
特別利益合計	148	264
特別損失		
固定資産除却損	98	0
特別損失合計	98	0
税金等調整前中間純利益	314,758	431,209
法人税、住民税及び事業税	62,065	138,003
法人税等調整額	30,671	5,007
法人税等合計	92,737	143,010
中間純利益	222,021	288,198
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△1,870	△6,479
親会社株主に帰属する中間純利益	223,891	294,678

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	222,021	288,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,474	61,909
為替換算調整勘定	3,857	△2,788
退職給付に係る調整額	358	4,495
その他の包括利益合計	19,690	63,615
中間包括利益	241,711	351,814
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	241,620	359,718
非支配株主に係る中間包括利益	90	△7,903

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	314,758	431,209
減価償却費	188,366	181,781
賞与引当金の増減額（△は減少）	△118,591	△64,755
業績連動報酬引当金の増減額（△は減少）	3,313	4,522
株式報酬費用	605	2,162
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	9,424	21,858
受取利息及び受取配当金	△3,627	△3,947
支払利息	4,530	8,421
交付金収入	△9,425	△9,221
有形固定資産売却損益（△は益）	△148	△264
売上債権の増減額（△は増加）	395,836	1,306,416
契約資産の増減額（△は増加）	△72,306	△300,589
棚卸資産の増減額（△は増加）	△21,460	△12,727
仕入債務の増減額（△は減少）	△204,225	△111,944
未払金の増減額（△は減少）	△192,825	△130,717
その他	17,252	△26,151
小計	311,476	1,296,052
利息及び配当金の受取額	3,609	3,776
利息の支払額	△4,489	△8,202
交付金の受取額	9,425	9,221
法人税等の支払額	△114,738	△49,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,282	1,251,016
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△221,269	△202,700
有形固定資産の売却による収入	148	264
無形固定資産の取得による支出	△265	△3,380
投資有価証券の取得による支出	△2,899	△2,826
その他	44	182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,241	△308,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	△680,000
長期借入金の返済による支出	△50,100	△50,100
リース債務の返済による支出	－	△782
配当金の支払額	△80,974	△80,823
自己株式の増減額（△は増加）	2,203	4,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,870	△807,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,659	△2,069
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△145,170	133,320
現金及び現金同等物の期首残高	1,703,684	2,128,639
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,558,513	2,261,959

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	工事施工	溶接材料	環境関連装置	計				
売上高								
一時点で移転される財（注）４	2,591,599	679,673	67,192	3,338,466	355,972	3,694,438	－	3,694,438
一定の期間にわたり移転される財	1,449,172	－	165,420	1,614,593	－	1,614,593	－	1,614,593
顧客との契約から生じる収益	4,040,771	679,673	232,613	4,953,059	355,972	5,309,031	－	5,309,031
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	4,040,771	679,673	232,613	4,953,059	355,972	5,309,031	－	5,309,031
セグメント間の振替高	－	228,272	－	228,272	35,646	263,918	△263,918	－
計	4,040,771	907,945	232,613	5,181,331	391,618	5,572,950	△263,918	5,309,031
セグメント利益	598,469	79,232	12,297	689,999	24,614	714,614	△413,127	301,486

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に自動車産業向けのアルミダイカストマシーン用部品の販売であります。

２．セグメント利益の調整額△413,127千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費）であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短いため、代替的な取扱いを適用し、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約を含んでおります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	工事施工	溶接材料	環境関連装置	計				
売上高								
一時点で移転される財（注）４	2,667,222	686,043	71,123	3,424,389	311,533	3,735,923	－	3,735,923
一定の期間にわたり移転される財	1,517,178	－	284,651	1,801,830	－	1,801,830	－	1,801,830
顧客との契約から生じる収益	4,184,400	686,043	355,775	5,226,219	311,533	5,537,753	－	5,537,753
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	4,184,400	686,043	355,775	5,226,219	311,533	5,537,753	－	5,537,753
セグメント間の振替高	－	260,729	－	260,729	42,015	302,744	△302,744	－
計	4,184,400	946,772	355,775	5,486,948	353,549	5,840,498	△302,744	5,537,753
セグメント利益	691,727	91,463	72,952	856,143	8,463	864,607	△443,810	420,797

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に自動車産業向けのアルミダイカストマシーン用部品の販売であります。

２．セグメント利益の調整額△443,810千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費）であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短いため、代替的な取扱いを適用し、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約を含んでおります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。